

内分泌攪乱物質の免疫系への影響の解析 ービスフェノールA(BPA)の経口摂取による免疫応答の変化ー

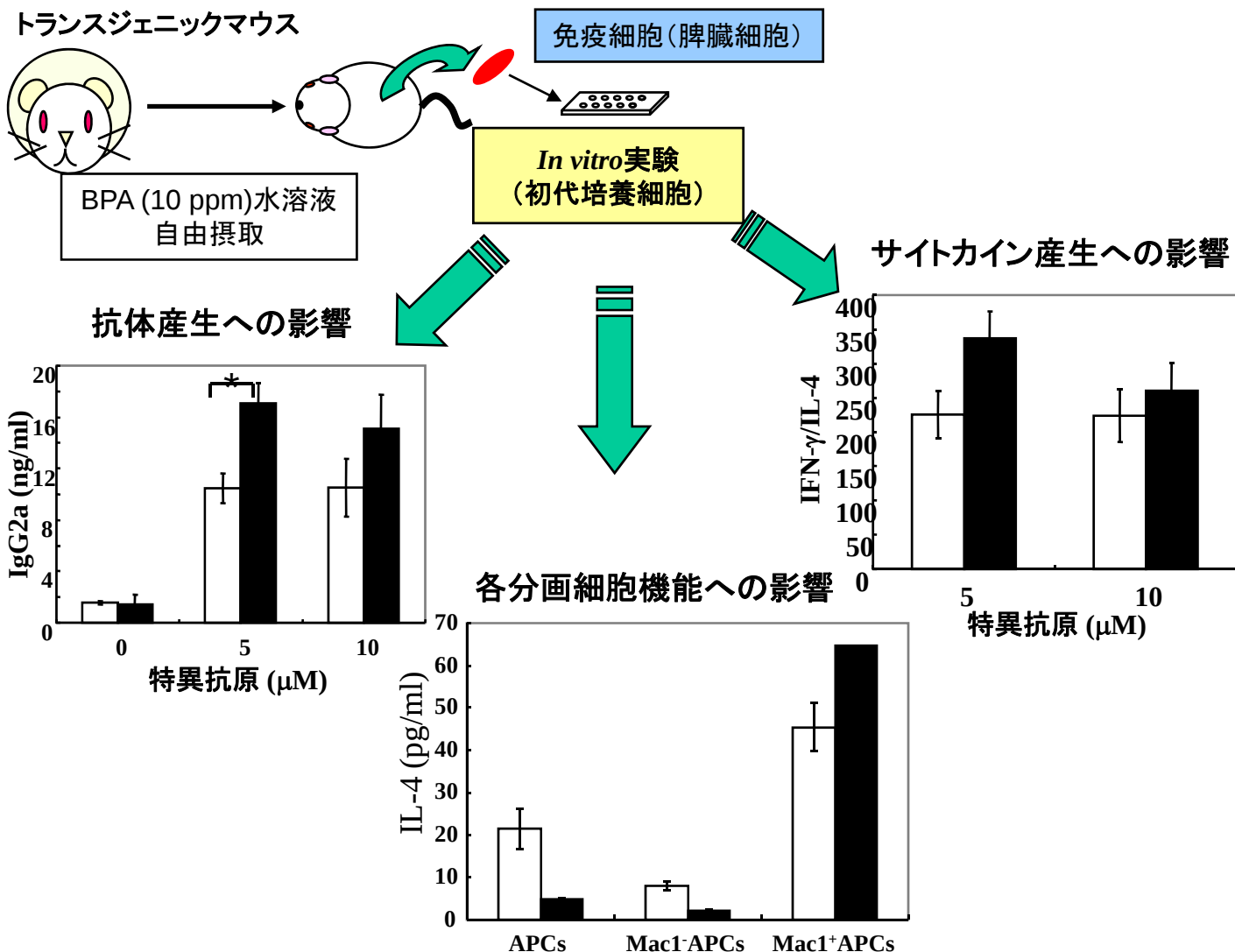
技術の特徴

- ・BPAの経口摂取が免疫応答を修飾する事を証明した。
- ・各種細胞機能解析技術により、多角的にBPAの生体への影響を検討可能とした。

研究の内容

- ・抗原特異的T細胞レセプタートランスジェニックマウスを用いて、BPA経口摂取(黒いバー)の免疫系への影響を各種アッセイにより検討した。

トランスジェニックマウス



今後の展開

BPA摂取の抗原特異応答への影響をさらに解析し、アレルギーなどへの影響の検討を行う。

参考

Orally Administered Bisphenol A Disturbed Antigen Specific Immunoresponses in the Naïve Condition
: *Biosci. Biotechnol. Biochem.* (in press) Masao Goto, et al.